

# 洞爺湖町 議会だより

No.80

令和8年1月会議

令和8年3月会議

2026.5



## 主な内容

- P 2 令和8年1月会議  
令和8年3月会議 議案審議
- P 3 一般質問1名登壇
- P 4～5 委員会活動レポート
- P 6 議会の動き・編集後記



写真集団洞爺 飯村 直樹 (のどけき春)

# 令和8年 1月会議

1月会議が1月16日に開会し、議案1件を原案のとおり可決しました。

## 【主な議案の審議内容】

### 補正予算

#### ○一般会計(第4号)

歳入歳出それぞれ241  
68万円の増額

(主なもの)

- ・物価高騰対策支援給付金等 16156万円
- ・特定目的基金積立金(土地売却収入) 8000万円

# 令和8年 3月会議

3月会議が3月5日から11日まで開会し、令和8年度の一般会計、特別会計、公営企業会計を含めた総額123億7651万円の予算案が提案され、予算審査特別委員会に

付託し、審議の結果、全て原案どおり可決しました。

一般議案については、条例の制定及び改正等13件、補正予算6件、その他議案2件を原案どおり可決し、議員提案の意見書1件が否決となりました。

また、1名の議員が町行政への一般質問を行いました。

## 【主な議案の審議内容】

### 条例制定

- 洞爺湖町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
- 洞爺湖町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例
- 洞爺湖町学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例

### 条例改正

- 洞爺湖町職員の給与に関する条例の一部改正
- 洞爺湖町職員の旅費に関する条例の一部改正
- 洞爺湖町国民健康保険税条例の一部改正

○洞爺湖町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部改正

○洞爺湖町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

○洞爺湖町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

○洞爺湖町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

○洞爺湖町介護保険条例の一部改正

○洞爺湖町地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の一部改正

○洞爺湖町体育施設条例の一部改正

○定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定

○洞爺湖町過疎地域持続的発展市町村計画の策定

### その他議案

- 補正予算

○一般会計(第6号)  
歳入歳出それぞれ699  
3万円の減額

(主なもの)

- ・財政調整基金等積立金 13552万円
- ・西いぶり広域連合負担金 △5200万円
- ・老人福祉施設入所措置費扶助 △1400万円
- ・介護保険特別会計繰出金 △1063万円
- ・清水集会所外1件 解体工事費 △2137万円
- ・(仮称)あぶた保育所新築工事等 △3033万円
- ・除雪業務委託料 6710万円
- ・高砂団地2号棟改修工事外1件 △2913万円
- ・他 各事業費確定に伴う減額補正など

○国民健康保険特別会計(第3号)  
歳入歳出それぞれ248  
9万円の減額

(主なもの)

- ・療養給付費 △2500万円
- ・高額療養費 400万円

○介護保険特別会計(第3号)  
歳入歳出それぞれ703  
9万円の減額

・介護サービス等諸費 △7000万円

○後期高齢者医療特別会計(第3号)  
歳入歳出それぞれ876  
万円の増額

・後期高齢者医療広域連合納付金 775万円

○水道事業会計(第2号)  
(資本的支出)

・資産購入費 47万円

○公共下水道事業会計(第3号)  
(収益的支出)

・減価償却費等 276万円

・予備費 65万円

(資本的支出)

・建設改良費 △2800万円

### 意見書

○非核三原則の堅持と法制化を求める意見書(案)  
(否決)



# 洞爺湖町に住むすべての人が 安心して暮らせる町づくりを!

## 小林 真奈美 (日本共産党)

### 質問 1

**買い物弱者への支援について**

**問** 虻田地区スーパーマーケットの閉店に伴い町として把握していたのか、町民からの問い合わせなどがあつたのか伺う。

**答** 閉店に関する情報を確認したのは2月4日。6日に商工会長と町長が同社代表を訪問し、閉店の意向について正式に確認しました。町民から問い合わせは現時点ではありません。

**問** 買い物弱者支援について現状での取り組み状況を伺う。

**答** 地域公共交通としての役割が今後ますます重要になってくると認識しています。まずは町バス等のルート変更とか、時刻表の見直しなども含めて、現在検討しているところです。

福祉面では、介護サービス社会福祉協議会が実施して手助け隊事業を通じて支援に当

たっているところです。町としては、今後とも社会福祉協議会と連携しながら、現行の効果的な取組を継続支援していくことにより、高齢者や障がい者をはじめとした支援を要する方々に確実に支援が行き届くよう、努めてまいります。



### 質問 2

**自衛隊への名簿提供について**

**問** これまでの自衛隊への名簿提供の状況について伺う。

**答** 令和8年度の部分について、これから提供についての照会があるもので回答期限は4月下旬頃を期限と伺っています。

**問** 今年度の名簿提供に関わって具体的な方策と周知方法とその改善について伺う

**答** 除外申請の受付はこれまで同様の周知方法となっています。

**問** 名簿提供に関わって個人のプライバシーに関する権利について町長の認識について伺う。

**答** 自衛隊への名簿提供と個人のプライバシーという認識は、令和7年3月において答弁している通りです。法令に基づく適正な情報提供であると認識しています。

### 質問 3

**多文化共生社会の推進について**

**問** 多文化共生社会の推進に向けた洞爺湖町の取組の現状と課題について伺う。

**答** 現状において体系的な事業は実施していませんが各分野において事業者や管理団体等が主体となって、就労や生活に必要な支援が行われているものと認識しています

町内事業者が受け入れている事例において、地域の行事に参加するなど、地域住民との交流が図られていると承知をしており、一定程度、地域社会の一員としての関わりが見られている状況にあるものと認識しています。

**問** 多文化共生社会に向けた今後の取組について伺う

**答** 近年の深刻な人口減少、少子高齢化に伴い、外国人の受け入れが増えつつあるという状況は認識しているところです。今後の取組について、当町の所管、担当課並びに関係課、これを連携して多文化共生社会の推進に努めていくことが必要と認識しているところです。今後においても国の動向に注視し、地域住民と外国人がともに安心して暮らすことができるよう、努めていく必要があると考えているところです。



# 常任委員会活動レポート



## 経済常任委員会

調査日

令和8年2月17日(火)

### ●調査事項1

洞爺湖温泉観光協会の現況と課題について

### ●調査結果

洞爺湖温泉の宿泊客数は、令和6年度62万5千人、令和7年度12月末現在で約48万人を超え、前年度12月末比で98・5%、内外国人については25万人を超え、その比率は約52%となっている。宿泊客数は増加傾向であるが、近年の物価高騰や人手不足など多くの課題も残している。

洞爺湖温泉観光協会では、観光庁の補助金を活用した各種の事業を展開しており、夜の洞爺湖中島でガイドツアー・プレミアムディナー・プ

ライブト花火を体験できる商品の販売や2月の10日間、音楽と花火を融合した冬花火を開催し、環境に配慮した花火玉を一部使用するなど、持続可能な取り組みを進めている。また、町のオーバーツーリズム対策補助金により防犯カメラ及び注意喚起看板を設置し、安心・安全な観光地の形成を行っている。

洞爺湖温泉観光協会が計画しているロングラン花火大会・マンガアニメフェスタ・サマーフェスタ・ふるさと納税返礼品「洞爺湖温泉感謝券」・カーシェアリングサービス・札幌大型イベント開催による「深夜特別便」のバスの運行など、これらの事業の実施においては、今後の観光産業の振興を図る上でも重要な取り組みとなっており、引

き続き行政における積極的な支援が必要である。

また「入湯税」や「宿泊税」については、観光産業の発展に資する重要な財源として、使途を明確化した中で地域の実情や課題に即した実効性のあるものとなるよう具体的な活用が期待される。



### ●調査事項2

洞爺湖町商工会の現況と課題について

### ●調査結果

現会員数は、令和8年1月1日現在302名(前年度比3名減)、令和7年12月末までの会員加入者数9名、脱会者12名、令和7年度の予算総額については、8354万円(内道補助金2375万円・町補助金3577万円)となっている。

洞爺湖町商工会の主な取り組みとして「住宅等リフォーム・住環境整備支援事業」の継続実施により、令和7年度は77件の申請(前年度比26件減)を受理、「とうやコイン」の発行実績は735万円となっている。それに伴う工事金額については、全体で約1億427万円となり、1件当たりの平均額は約135万円(前年度平均、約115万円)となった。その要因については、資材価格高騰の影響によるものと分析されている。

「新型コロナウイルス感染症対応融資利子補給事業」は59件(前年度比3名減)、利子補給額として約390万円の実績となっている。

さらに、昨年8月上旬「にぎわいまつり2025&ピアーガーデン」が開催され、11件の出店により約2000人が来場。また、町の玄関口である「洞爺駅前」では、12月上旬から2月末まで「イルミネーショントンネル」が点灯され、多くの観光客等に喜ばれていたところであります。

次に、商工会からの要望事項については、物価高騰に対応した支援、「とうやコイン」等町内経済対策事業の継続、移住・定住の助成金制度の強化、マル経融資利子補給制度の新設、洞爺湖温泉地区のオーバーツーリズム対策、住宅リフォーム事業の継続拡大、新規創業者の事業補助、ライドシェアの推進などが寄せられている。

商工会においても、事業継承や資金の確保、経営の効率化など中小・小規模事業者のニーズに対応し多くの取組を行っているが、独自資金での展開は難しいことから、行政の積極的支援が事業の前提条件となっている。これら要望

に際し、慎重に検討しつつ多くの項目で対応することが重要と思われる。



●調査事項3

いぶり噴火湾漁業協同組合の現況と課題について

●調査結果

令和7年4月1日現在の虻田地区の組合員数は41名となっている。令和6年度の虻田地区の水揚量は、鮮魚類で36・4t(前年比1・8t減)貝類等が2757・1t(前年比345t減)また、水揚金額については、鮮魚類で5287万円(前年比781万円増)、貝類等で12億6054万円(前年比7億5132万円増)となっている。

の要因としては、養殖ホタテの取引単価が例年より大幅に上がったことが挙げられ、今後もし引き続きホタテの価格帯が維持継続することを期待している。

虻田地区ホタテ養殖事業はホタテ貝のへい死による水揚げ量の減少や、今後長期にわたる貝毒の影響等による価格の低下など、将来の漁業に大きな不安を抱えている。このほか、人件費や流通経費、諸資材料費や燃料費の高騰、雑物処理、漁業従事者の高齢化による人手不足などの諸課題の将来的な対策について、引き続き様々な行政支援を含めた検討を図りたい。



### 来年3月までの定例日

- ・ 令和8年 6月会議 令和8年6月15日から
- 9月会議 令和8年9月10日から
- 12月会議 令和8年12月10日から
- ・ 令和9年 3月会議 令和9年3月5日から

開催予定です。

### 議会中継について

YouTube(ユーチューブ)による配信を行っております。議会中継終了後も視聴が可能となっております。また、洞爺総合センターでも議会中継をご覧いただけます。

